

幕末の桑名藩主 松平定敬

～謎多き一会桑政権の担い手～



(3) 長州征伐

西村 健二

はじめに

令和元年度に始まった歴史講座『桑名藩幕末物語』も第三回を迎え、テキスト『松平定敬～謎多き一会桑政権の担い手～ (三) 長州征伐』を上梓することができた。新型コロナウイルス感染症の猛威により当初予定されていた二月二十七日の開催は見送られたが、桑名歴史案内人の会や社会福祉法人桑名市社会福祉協議会のみなさまのご協力によって開催が実現した。ここに改めて感謝申し上げたい。

テキスト第一巻と第二巻については、国立国会図書館、三重県立図書館、桑名市立中央図書館等に寄贈して一般の閲覧に供しているが、非売品であるにもかかわらず、東北や関東をはじめとした各地から問い合わせが相次ぎ、反響の大きさに驚かされた。その理由は松平定敬という歴史上の重要人物の伝記がこれまでに発行されていないことにある。幕末に関心がある人であれば誰もが知っている人物でありながら、その生涯はいまだ多くが謎に包まれている。本書はそのような謎多き定敬の人生を明らかにしようという試みから誕生したわが国で初めてにして唯一の松平定敬の伝記である。

ここで、私の本業である精神保健福祉士としての観点から定敬の性格について述べたい。あくまで私個人の捉え方であるが、定敬は兄松平容保に勝るとも劣らない生真面目な人物である。そして、なによりも兄に従順である。定敬は容保ほど自らの意見を主張しない。何らかの課題解決を図るとき、定敬自身が単独で意見を述べたり、行動したりすることは少なく、あくまで容保との協調を前提としている様子が伺える。その背景には、よくも知らない京都でいきなり政治の表舞台に立たされた不安と経験不足があり、最も近い関係にあった容保を頼らざるを得なかった事情がある。それでも朝廷を擁護しつつ幕府の意見も伝え、容保の示す方向性をもとに粛々と調整にあたる姿はまさに実務官僚そのものである。京都所司代として個々の仕事は京都守護職の指示を仰いで着実にこなしていたものの、気付けば幕府が崩壊していたという状況に陥った。ただし、彼は大局を見誤ったわけではなく、当時の武士の理念である「忠義」という非合理的な価値観に従って行動したと考えれば理解しやすい。結論を言えば、定敬は兄容保を頼みに行動する生真面目で従順なごく普通の青年武士であったのだろう。

第三巻では、元治元年（一八六四）の第一次長州征伐と天狗党の乱における定敬の行動を紹介する。容保と協力して孝明天皇を守りつつ幾多の困難に立ち向かったこの多忙な一年は、定敬の人生において最も充実した期間だったのかもしれない。このとき、定敬は間違いなく朝廷の守護者であった。



令和三年（二〇二一）七月三十一日

郷土史研究家 西村 健二

目次

はじめに

補章 第一巻補足

- 第一章補足 生母亀の出自 1 / 養母規姫 2 / 高須藩江戸上屋敷 3 / 高須藩江戸下屋敷 3 / 高須藩江戸下屋敷跡地の諸学校一 5 / 高須藩江戸下屋敷跡地の諸学校二 7 / 安政地震における桑名藩の被害状況 8
- 第二章補足 亡き者とされた万之丞 9 / 京都警衛の命令 10 / 将軍徳川家茂の生母実家の幕臣取立 10
- 第三章補足 江戸城でハリスを迎えた松平定猷 10 / ペリー来航時の桑名藩 11 / 桑名藩京都屋敷の絵図 11 / 文久期の桑名藩の動向 12 / 鹿島建設と桑名藩 14

補章 第二巻補足

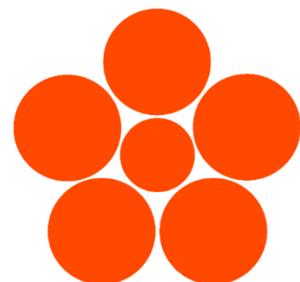
- 第五章補足 信楽援兵派遣 15 / 六台場御預 15 / 京都所司代就任の周知 17 / 京都所司代の日常 18
- 第六章補足 池田屋事件における桑名藩 22
- 第七章補足 禁門の変における福井藩への指示 24 / 禁門の変における鯖江藩への指示 27 / 禁門の変における高松藩への指示 27 / 禁門の変における桑名藩 28 / 長谷川軍記日記に見る禁門の変 30 / 元治大火の様子 31

第八章 第一次長州征伐

- 相次ぐ柏崎からの献納 32 / 四国連合艦隊による下関砲撃 33 / 長州征伐決まる 33 / 進まない長州征伐 34 / 総督徳川慶勝の上洛 39 / ようやく動き出す長州征伐 42 / 立見鑑三郎、広島へ行く 46 / 長州藩降伏の舞台裏 49 / 京都での不穏な動き 49

第九章 天狗党の乱

- 西上する天狗党 52 / 国許桑名からの派兵 53 / 出陣する慶喜 55 / 桑名藩兵の凱旋 56 / 京に残った定敬 57 / 桑名藩の情報収集活動 60 / 園部陣 60 屋 / 小菅銭座からの払い出し 61 / 照源寺山門修理 61



家紋・花押デザイン 学生ボランティア「かこ」さん

令和3年（2021）7月31日発行

著者・発行 西村 健二